

## インタビュー

福岡の持続的発展につながる活動をしている方々にインタビューしてきました。

**まちの保健室** 学校に保健室があるように地域の皆さんが気軽に健康相談ができる場があるといいと思いませんか。まちの保健室は、そんな取り組みです。看護師さんたちが各地域で定期的実施しています。



5月12日、福岡県看護協会第6支部の原田さんと椎葉さんにお話を伺いました。最近ショッピングセンターで開催しており、体脂肪、血圧、血管年齢などを測定し、健康相談に応じています。次は6月にイオン原店で開催されるとのことでしたので、我々も行ってきました。ショッピングセンターで開催するまちの保健室では、小さなお子さん連れのお母さんも気軽に立ち寄ることができるのでたいへん好評なようです。買い物ついでに気軽に相談できるし、病院に行く程の事ではないと思うけど少し相談したいなど、日頃から自分の健康管理ができたらいいなと思いました。

医療費の増大が社会問題となっている中で、医療費を減らす取り組みとして非常に重要なものと思います。年に数回のイベントではなく、常設の場所が、各小学校の校区に開設できると良いのではないかと感じました。



**子どもNPOセンター福岡** 6月25日、子どもNPOセンター事務局長の宮本さんにお話を伺いました。子

もの命と心が尊重され、豊かな発達が保障される社会の実現をめざして活動されているNPO法人です。例えば、里親里子支援や子どもの居場所作りとして中高生の「フリースペースてい〜んず」や「子どもの学びと居場所づくり事業」の運営などを行っています。将来を担う子どもたちが、健康に文化的に成長するために、様々な課題がある中で、根っこにあるものは貧困であると感じました。「生活保護の連鎖を断ち切る」ということが重要とのこと。そうすると、親の生活を何とかしなければならぬのではないかと思います。子どもが変わることで親が変わるということもあるそうです。子どもだけではなく、家庭全体への支援が必要なようです。

**循生研** 正式名称は「NPO法人循環生活研究所」、略して“じゅんなまけん”。7月7日、理事長のたいらさんにお話を伺いました。生ごみや庭から出る有機物をごみとして出さずに循環させる技術と堆肥づくりを楽しく伝えていくという活動を行っています。ダンボールコンポストの販売を行っており、1箱には約3ヶ月生ごみを入れることができます。その後は自宅の庭や畑で肥料として使うことができますが、循生研に送って使ってもらうこともできます。循生研では送られてきたコンポストを、近隣の農家で使ってもらい、できた野菜を販売しています。まさに循環！



たいらさんの「半径2kmで物を循環する」という言葉がとても印象的でした。例えば、香椎宮を中心に半径2kmの円を描くと、香椎の繁華街も名子の田畑も入ります。福岡は小さな都市なので、その利点を活かして、半径2kmの地域を基本単位とした町づくりを考えてもよいのではないかと思います。

## サステナブルシティ福岡キャンペーン

スローガンは、「持続可能な都市世界一」。このキャンペーンは、NPO 法人イマジンが、福岡市を世界に先駆けて持続可能な都市のモデルにしようと企画したものです。福岡で持続可能な発展に資する活動を行っている方々にインタビューし、広く PR します。小誌もその一環です。ホームページとフェイスブック、そして、サッタモまちかど放送局でも紹介しています。ぜひアクセスして、シェアしてください。一緒に活動してくれる仲間も大募集しています。

### サッタモまちかど放送局

サッタモとは、福岡市早良区北部の一体的な発展をめざし、西新、高取、藤崎、百道浜とその周辺地域を指す言葉として、NPO 法人イマジンが独自に考案したものです。この放送局は、インターネット技術を活用し地域の発展に貢献することを目的に始めて9年目突入となりました。毎週火曜日 12 時からいろんな話題をお届けしています。 [www.sattamo.jp](http://www.sattamo.jp) でご視聴いただけます。

### 小誌のタイトル For You and For Me

何か聞き覚えがあるフレーズではないでしょうか。実は、あのマイケル・ジャクソンの曲「Heal the world」に出てきます。曲の最後は"Make a better place for you and for me"で、"For you and for me"が繰り返されてフェードアウトします。多くの方が一度は聞いたことがあると思います。ぜひ、歌詞の内容もご覧になってみてください。すっごく素敵ですよ。

編集後記： 季刊誌を発行することになり、私自身も理解を深めることができました。インタビューに応じてくださった皆様ありがとうございました。(内田)

### 【発行者】

特定非営利活動法人イマジン  
福岡市早良区祖原 14-20  
Tel 070-5818-6150  
Email [info@imagine.or.jp](mailto:info@imagine.or.jp)



サステナブルシティ福岡キャンペーン  
<http://sustainablecityfukuoka.jp>

## For You and For Me

創刊号 2015 年 9 月

### ご挨拶

はじめまして。私たちはサステナブル・シティ福岡キャンペーンと題し、福岡市を“持続可能な都市”世界一にしようと日々活動しています。世界の都市は、貧困、子育て、エネルギーなど程度の違いは



あれ、共通の課題を抱えているではないでしょうか。それは“都市の持続性”です。福岡市が世界に先駆けて持続可能な都市の成長モデルを示すことで世界に貢献していきたいと考えています。

特定非営利活動法人イマジン  
理事長 渡辺久也

### 「サステナブル (持続可能)」ってなん？

サステナブル (sustainable) とは、何かが“長く続くことができる”という意味で、日本語では「持続可能である」と訳されています。大量生産、大量消費、大量廃棄の 20 世紀型のシステムは“持続不可能”であるという認識はもはや広く共有されていると思います。しかし、では、どうすれば“持続可能”なのかという実現可能なシステムは、残念ながら、未だ明らかになっていません。地球環境のみならず、産業・社会全体として、もっとミクロには個人一人一人も持続可能であってはじめて、地球全体として持続可能であると言えます。